



CASBEE-広島 (2010年ver.1)
出島埋立地区廃棄物処分場受入施設

 用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.30					2.7
1 音環境		2.4	0.15					2.4
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 暗騒音レベル		3.0	1.00					
1.2 遮音		2.6	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		2.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		1.8	0.35					1.8
2.1 室温制御		2.7	0.50					
1 室温設定		3.0	0.38					
3 外皮性能		2.0	0.25					
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		3.6	0.25					3.6
3.1 昼光利用		3.0	0.30					
1 昼光率		3.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
2 昼光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		4.0	0.15					
1 照度	検査室照度750lx以上1000lx未満	4.0	1.00					
3.4 照明制御	1作業単位、リモコン操作	5.0	0.25					
4 空気質環境		3.2	0.25					3.2
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	全館禁煙とする。	5.0	0.50					
Q2 サービス性能		-	0.30					3.0
1 機能性		2.6	0.40					2.6
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.60					
1 広さ・収納性	検査室: 検査員最大3名、54.41÷3=18.14	5.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33					
3 バリアフリー計画		1.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40					
1 広さ感・景観		3.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	全館禁煙、休憩室、自動販売機の設置。	5.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性		2.8	0.31					2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		2.7	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種以上にC種以上を使用。	4.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			2.6	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.7	0.29		-	3.7
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		-	
1	階高のゆとり	受入室階高3.9m以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.056	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	構造体内部は配管保護、その他はラック、ダクト、ケーブル工事	5.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	構造体内部は配管保護、その他はラック、ダクト、ケーブル工事	5.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	2.6
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物を敷地境界からセットバックさせ、敷地入口付近に築山を設けて植栽を行う。	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		空地率=72.3% 緑地等面積率=24.5%	4.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40		-	4.0
1 建物の熱負荷抑制				-		-	-
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29		-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用		受入室の3面にハイサイドライトを設置。	4.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		ERR=47.6	5.0	0.43		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.29		-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水		節水器具・便器の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67		-	
1.2.2 雑排水再利用システム導入の有無			3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.9	0.63		-	3.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		外構舗装に再生加熱アスファルト混合物、再生骨材の路盤材利用、玄関ポーチに段ボール(階段滑り止め)	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		持続可能な森林から産出された木材の使用比率が50%以上。	5.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		S造躯体+LGS+仕上材、配管・配線が躯体及び仕上材に打ち込まれていない。	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	
3.2.1 消火剤		ABC粉末消火器設置。	4.0	0.33		-	
3.2.2 断熱材		発砲断熱材不使用。	5.0	0.33		-	
3.2.3 冷媒			3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=82%	4.4	0.33		-	4.4
2 地域環境への配慮			3.4	0.33		-	3.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の不使用。	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25		-	
2.3.1 雨水排水負荷低減			-	-		-	
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
2.3.3 交通負荷抑制			3.0	0.33		-	
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
3.1.1 騒音			3.0	0.33		-	
3.1.2 振動			3.0	0.33		-	
3.1.3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
3.2.1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
3.2.2 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明無し、高効率照明器具採用	4.0	0.70		-	
3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	